

留学体験記

人間関係学部人間文化学科

日本語日本文学コース4年

小池 杏樹

2023年2月28日～2024年1月13日

大学入学前から韓国語に興味があったため、新羅大学校への交換留学を決心しました。留学前の韓国語の実力はTOPIK2級程度でした。前期は語学堂に通い、韓国語を様々な国の友人たちと学びました。韓国の文化だけではなくベトナムや中国をはじめ、様々な国の文化も学ぶことができたのでとても良い経験でした。授業が終わると、同じクラスの友人と昼食をとったり、寮で一緒にドラマを見たりして過ごしました。新羅大学校にはカフェ、コンビニ、食堂などが沢山あるので行く場所には困りませんでした。

後期は大学の講義だけを受講しました。授業は「翻訳日本語」「日本語会話指導論」「釜山の日」「アジア共同体の理解」の4科目を受講しました。釜山の訛りのため聞き取りにくいこともありましたが、教科書を見て時間をかけて勉強をしたため、単位を取得することができました。釜山の博物館に行った際に「釜山の日」という授業で習った歴史や場所が展示されているのを見て、自分が留学している土地について理解を深めることができたので、受講してよかったと思いました。

韓国人の友人を作るため、バディ制度というものを利用しました。また、日韓交流のサークルにも入って、週に一回交流をしていました。バディ制度では私に4人の韓国人がついてくれて、皆で遊びに行ったり、個別で遊びに行ったりしました。香水作りを体験したり、ご飯を食べたり、カフェに行ったり、良い思い出作りをたくさんすることができました。また、課外活動も行い、日本語を教えるために高校へ訪問したり、リーダーとして日韓交流のボランティアに参加したりしました。大変なことも多くありましたが、貴重な経験になりました。10月に受けたTOPIKでは目標であった6級を取得することができました。留学を通して、語学力が向上したのはもちろんのこと、かけがえのない友人たちと出会うことができ、日本ではできないような多くのことに挑戦することができました。この一年間は私の人生において決して忘れることのできない有意義な時間となりました。

